



平成 28 年 8 月期 第 1 四半期決算短信（非連結）

平成 28 年 1 月 27 日

会 社 名 株式会社 リビングギャラリー グリーンシート銘柄  
 コード番号 8930 本社所在都道府県 新潟県  
 本社所在地 新潟県新潟市中央区米山 4 丁目 1 番 28 号  
 問い合わせ先 責任者役職名 専務取締役 氏 名 村田 清貴 TEL (025) 246-0609

1. 平成 28 年 8 月期第 1 四半期の業績（平成 27 年 9 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日）

- (注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。  
 2. 百万円未満は切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 28 年第 1 四半期	518	( 52.8 )	△ 55	( - )	△ 69	( - )
平成 27 年第 1 四半期	339	( △ 9.2 )	△ 52	( - )	△ 67	( - )

	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益	自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	総 資 産 経 常 利 益 率	売 上 高 経 常 利 益 率
	百万円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
平成 28 年第 1 四半期	△ 45 ( - )	△2,846 02	—	△45.0	△ 2.3	△13.4
平成 27 年第 1 四半期	△ 45 ( - )	△2,874 12	—	△23.8	△ 2.6	△19.8

- (注) 1. 期中平均株式数 28 年第 1 四半期 15,980 株 27 年第 1 四半期 15,980 株  
 2. 会計処理の方法の変更 無  
 3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率  
 4. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、平成 27 年第 1 四半期及び平成 28 年第 1 四半期とも最終損益が損失となるため、それぞれ記載を省略しております。

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成 28 年第 1 四半期	3,081	78	2.5	4,908 25
平成 27 年第 1 四半期	3,063	77	2.5	4,832 17

- (注) 期末発行済株式数 28 年第 1 四半期 15,980 株 27 年第 1 四半期 15,980 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成 28 年第 1 四半期	△ 92	△ 18	43	568
平成 27 年第 1 四半期	△ 398	△ 8	462	554

2. 平成 28 年 8 月期の業績予想 (平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金(円)				
				第 1 四半期	中間期末	第 3 四半期	期 末	
	百万円	百万円	百万円					
通 期	3,100	100	64	—	—	—	0.00	0.00

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 3,854 円 26 銭

1. 上記の予想は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり潜在的なリスクや不確実性があります。従って、実際の業績は、今後様々な要因によりこれらの予想数値とは異なる場合があります。

2. 当社は、平成 27 年 12 月 24 日を払込期日とする第三者割当増資により普通株式 1,250 株を発行しております。

平成 28 年 8 月期の通期業績予想に記載の 1 株当たり当期純利益は、第三者割当増資による普通株式 1,250 株の増加を加え算出しております。

平成 28 年 1 月 27 日

## 第 26 期 第 1 四半期報告書

(平成 27 年 9 月 1 日から平成 27 年 11 月 30 日まで)

会社名(定款上の商号) 株式会社 リビングギャラリー  
英文名(英文商号) Living Gallery Co.,Ltd.  
コード番号 8930  
代表者の役職氏名 代表取締役社長 藤田 幸成  
本店の所在の場所 新潟県新潟市中央区米山4丁目1番 28 号  
電話番号 025-246-0609  
連絡者 専務取締役 村田 清貴

### I 四半期の業績

#### (1) 損益計算書

(単位:千円)

科 目	期 別	第 26 期	当期累計	前年同期累計
		第 1 四半期		
		自平成 27 年 9 月 1 日 至平成 27 年 11 月 30 日	自平成 27 年 9 月 1 日 至平成 27 年 11 月 30 日	自平成 26 年 9 月 1 日 至平成 26 年 11 月 30 日
I 売 上 高		518,746	518,746	339,552
II 売 上 原 価		224,690	224,690	90,432
売上総利益		294,055	294,055	249,120
III 販売費及び一般管理費		349,750	349,750	301,205
営業損失		55,694	55,694	52,084
IV 営業外収益		2,512	2,512	727
V 営業外費用		16,467	16,467	15,903
経常損失		69,650	69,650	67,260
VI 特別利益		—	—	592
VII 特別損失		—	—	138
税引前四半期(当期)純損失		69,650	69,650	66,806
法人税、住民税及び事業税		△ 24,170	△ 24,170	△ 20,878
法人税等調整額		—	—	—
四半期(当期)純損失		45,479	45,479	45,928

※ 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科目	期別	第26期 第1四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成27年9月1日 至平成27年11月30日	自平成27年9月1日 至平成27年11月30日	自平成26年9月1日 至平成26年11月30日
期中平均株式数		15,980株	15,980株	15,980株
1株当たり四半期(当期)純損失		2,846円02銭	2,846円02銭	2,874円12銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益		—	—	—

注)潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益につきましては、第26期第1四半期及び前年同期累計とも最終損益が損失となるため、記載をそれぞれ省略しております。

(2)事業部門別売上高

(単位:千円)

部門	期別	第26期 第1四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成27年9月1日 至平成27年11月30日	自平成27年9月1日 至平成27年11月30日	自平成26年9月1日 至平成26年11月30日
不動産仲介事業		149,547	149,547	138,762
不動産管理事業		72,317	72,317	64,175
不動産賃貸事業		64,126	64,126	56,407
不動産販売事業		147,363	147,363	21,870
その他		85,390	85,390	58,337
合計		518,746	518,746	339,552

## (3)貸借対照表

(単位:千円)

科目	期別	第 25 期末 (平成 27 年 8 月 31 日現在)	第 26 期 第 1 四半期末 (平成 27 年 11 月 30 日現在)
( 資 産 の 部 )			
I 流動資産			
1.現金及び預金		636,128	568,514
2.営業未収入金		30,897	40,406
3.販売用不動産		551,872	493,514
4.不動産事業支出金		388,908	508,304
5.前払費用		22,321	14,294
6.繰延税金資産		32,035	56,677
7.未収入金		8,659	20,158
8.立替金		77,300	83,869
9.その他		13,569	3,129
10.貸倒引当金		△ 25,604	△ 29,111
流動資産合計		1,736,090	1,759,759
II 固定資産			
1.有形固定資産			
(1)建物		332,209	342,066
(2)構築物		4,062	3,879
(3)車両運搬具		1,308	1,182
(4)器具及び備品		19,774	19,720
(5)土地		209,132	209,132
(6)リース資産		481,206	472,743
有形固定資産合計		1,047,694	1,048,724
2.無形固定資産			
(1)商標権		483	1,147
(2)ソフトウェア		6,384	5,735
(3)リース資産		39,166	36,816
(4)電話加入権		1,678	1,678
無形固定資産合計		47,713	45,378
3.投資その他の資産			
(1)関係会社株式		117,724	117,724
(2)出資金		290	320
(3)長期前払費用		2,264	2,687
(4)長期繰延税金資産		54,989	54,989
(5)差入保証金		51,339	51,689
(6)その他		356	330
投資その他の資産合計		226,963	227,741
固定資産合計		1,322,372	1,321,845
資産合計		3,058,462	3,081,604

(単位:千円)

科目	期別	第 25 期末	第 26 期
		(平成 27 年 8 月 31 日現在)	第 1 四半期末 (平成 27 年 11 月 30 日現在)
(負債の部)			
I 流動負債			
1. 営業未払金		17,253	28,051
2. 短期借入金		240,000	367,000
3. 一年以内返済予定の長期借入金		147,071	141,425
4. リース債務		70,059	76,157
5. 未払金		73,154	66,317
6. 未払費用		51,913	58,039
7. 未払法人税等		3,070	470
8. 未払消費税等		—	13,382
9. 前受金		1,638	2,381
10. 営業預り金		679,827	668,925
11. 預り金		3,223	3,913
12. 前受収益		45,323	46,343
13. 賞与引当金		27,584	41,094
14. その他		1,966	—
流動負債合計		1,362,086	1,513,503
II 固定負債			
1. 長期借入金		946,038	877,762
2. 預り敷金		11,599	12,348
3. リース債務		595,171	579,904
4. 資産除去債務		19,652	19,652
固定負債合計		1,572,462	1,489,667
負債合計		2,934,548	3,003,170
(純資産の部)			
I 株主資本			
1. 資本金		209,980	209,980
2. 資本剰余金 資本準備金		129,980	129,980
資本剰余金合計		129,980	129,980
3. 利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金		△ 216,046	△ 261,526
利益剰余金合計		△ 216,046	△ 261,526
株主資本合計		123,913	78,433
純資産合計		123,913	78,433
負債及び純資産合計		3,058,462	3,081,604

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科目	期別	第25期末	第26期
		(平成27年8月31日現在)	第1四半期末 (平成27年11月30日現在)
発行済株式総数		15,980株	15,980株
1株当たり純資産額		7,754円28銭	4,908円25銭

(4)株主資本等変動計算書 (自平成27年9月1日至平成27年11月30日)

(単位:千円)

項目	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
		資本準備金	その他利益剰余金		
			繰越利益剰余金		
平成27年9月1日残高	209,980	129,980	△ 216,046	123,913	123,913
第1四半期中の変動額					
四半期純利益	—	—	△ 45,479	△ 45,479	△ 45,479
第1四半期中の変動額合計	—	—	△ 45,479	△ 45,479	△ 45,479
平成27年11月30日残高	209,980	129,980	△ 261,526	78,433	78,433

(5)貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5 経理の状況 (4)個別注記表 ①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照下さい。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書については、監査法人の監査を受けておりません。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 法人税、住民税及び事業税の会計処理

各四半期の期首に算出した実効税率により算出した金額を計上しております。

(6)会計方針の変更

該当事項はありません。

## II 第26期 第1四半期(平成27年9月1日から平成27年11月30日)の業績の概況

当四半期における我が国経済は、新興国経済の減速の影響がみられるものの、企業収益が明確な改善を続けるなかで、設備投資が緩やかな増加基調にあり、また、雇用・所得環境の着実な改善を背景に個人消費は底堅く推移しており、緩やかな回復を続けております。

先行きについては、企業収益は明確な改善をたどるなかで、設備投資が緩やかな増加を続けるとみられ、また、個人消費も雇用環境の着実な改善が継続し、引き続き底堅く推移するとみられるなど、景気は緩やかな回復を続けていくとみられます。

新潟県の経済動向においては、個人消費は持ち直し、雇用環境は労働需給面の改善を続けており、さらに、企業収益が改善を続けている等、県内景気は緩やかな回復を続けております。

このような状況の中、当社では一層の業容の拡大と顧客の視点に立った営業活動を行ってまいりました。

営業成績では、不動産仲介事業において、売買仲介が前年を下回りましたが、賃貸仲介が前年実績を上回り、当四半期の売上高は149,547千円(前年同期比7.8%増)となりました。

不動産管理事業では、有償管理戸数が当四半期末で前年同期末比974戸増加の15,829戸となり、売上高は72,317千円(前年同期比12.7%増)となりました。

不動産賃貸事業では、自社所有物件の増加があり、当四半期の売上高は64,126千円(前年同期比13.7%増)となりました。

不動産販売事業では、自社開発物件の販売が順調に進み、当四半期の売上高は147,363千円(前年同期比573.8%増)となりました。

なお、その他では、主に修繕等の受託収入により、当四半期の売上高は85,390千円(前年同期比46.4%増)となりました。

以上の結果、当四半期の売上高は518,746千円(前年同期比52.8%増)となり、経常損失は69,650千円(前年同期は67,260千円の経常損失)、四半期純損失は45,479千円(前年同期は45,928千円の四半期純損失)となりました。

なお、当四半期では経常損失、四半期純損失の計上となりましたが、今後の需要期に対応する第3四半期には好転する見込みであり、当四半期の業績としては予定の範囲内で推移しております。

## III 第26期通期の売上高及び利益の予測について

(単位:千円)

科 目	期 別	第25期(実績)	第26期(予測)
		自平成26年9月1日 至平成27年8月31日	自平成27年9月1日 至平成28年8月31日
売 上 高		2,401,632	3,100,000
経 常 利 益		44,344	100,000
当 期 純 利 益		766	64,000

注)第26期通期の売上高及び利益の予測につきましては、平成27年11月27日発表の当初予測に変更はありません。なお、上記の予測は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり潜在的なリスクや不確実性があります。従って、実際の業績は、今後様々な要因によりこれらの予測数値とは異なる場合があります。

#### IV資金及び借入金の状況

##### (1)現金及び預金の増減

(単位:千円)

科目	期別	第26期 第1四半期
		自平成27年9月1日 至平成27年11月30日
現金及び預金の増減額		△ 67,614
現金及び預金の四半期首残高		636,128
現金及び預金の四半期末残高		568,514

(主な増減理由)

当第1四半期における現金及び預金の減少額の主な理由は、短期借入金の増加127,000千円があったものの、税引前四半期純損失69,650千円や、たな卸資産の増加61,038千円、長期借入金の減少73,923千円などによるものです。

##### (2)短期借入金の増減

(単位:千円)

科目	期別	第26期 第1四半期
		自平成27年9月1日 至平成27年11月30日
短期借入金の増加額		127,000
短期借入金の四半期首残高		240,000
短期借入金の四半期末残高		367,000

(主な増減理由)

当第1四半期における短期借入金の増加した理由は、不動産販売事業の仕入資金並びに運転資金127,000千円の新規借入があったことによるものです。

##### (3)長期借入金の増減

(単位:千円)

科目	期別	第26期 第1四半期
		自平成27年9月1日 至平成27年11月30日
長期借入金の増減額		△ 73,923
長期借入金の四半期首残高		1,093,110
長期借入金の四半期末残高		1,019,187

(主な増減理由)

当第1四半期における長期借入金の減少した理由は、不動産販売事業の売上による仕入資金の返済並びに運転資金の返済73,923千円があったことによるものです。

(注)長期借入金是一年以内返済予定長期借入金を含んでおります。

#### Vその他

該当事項はありません。